令和７年度　江戸川区立小岩第三中学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・自他を大切にし、思いやりのある人 ・心身ともに健康で、豊かな実践力のある人 ・積極的に学習し、考えて行動できる人 ・文化や伝統を尊重し、社会に貢献できる人		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・校訓である「公徳　礼譲　明朗」の育成を図り、生徒の心を耕し、身体を鍛え、学力を伸ばす、江戸川一面倒見の良い学校 ・あたたかい心をもち、あいさつができ、自律の精神をもち、自身で考えて行動できる生徒 ・人としてのあたたかさ、優しさをもち、保護者や地域と連携しながら生徒の学力・体力の向上に尽力する教師
前年度までの本校の現状	成果	・ICT活用についての校内研修を５回実施し、教材作成や授業にタブレットを使用する教員が増えた。 ・別室（スマイルルーム）の整備や、支援員、SSWとの連携を密に行い、不登校傾向の生徒や保護者の支援を充実させ、登校機会を増やし、学校と家庭の連携を強化することができた。	課題	・学力（特に英語）の向上。 ・教員の授業力向上とICT機器の活用を更に進める。 ・学校行事の精選とペーパーレス化の推進。 ・働き方改革の推進。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	・基礎学力を定着させる。	・単元別テスト、コロケーションテスト、検定を実施する。 ・放課後補習教室の参加を推進する。	・８０％の生徒を合格させる。 ・９０％以上の出席率を維持する。											
	・教員の授業力を向上させる。	・教科アドバイザーの授業観察と指導を受けさせる。 ・若手教員を中心に各種研修に参加させる。 ・生徒による授業アンケートの実施。	・月1回程度実施する。 ・年次研修や研究授業参観の機会をできるだけ確保する。 ・年2回実施し、肯定的評価９０％を目指す。											
	・朝学習の継続。	・百ます計算、コグトレ、よむYOMUワークシートの実施と活用。	・時程に組み込み、基本的に毎日実施する。											
体力向上	・基礎体力の向上	・体育の授業における補助運動の充実。	・毎時間、授業の前に実施し、身体を動かさせる。											
	・運動の意欲をもたせる	・身体を動かすことが楽しいということを理解させる。	・球技やダンスなど、生徒の興味に合った内容を体育の授業に取り入れる。											
共生社会の実現に向けた教育の推進	・特別支援教育を充実させる。	・全教職委員で支援の必要な生徒について共通認識をもち対応する。	・年度初めに全員で生徒情報を共有する。また、週に１回校内委員会で生徒の様子を報告し、対応について検討する。											
	・日本語を母語としない生徒への支援を充実させる。	・日本語指導の実施。 ・授業や定期考査等での配慮。	・個別や日本語教室の指導を受ける機会を適宜設ける。 ・教材や問題のルビ振りや必要に応じた翻訳機能の使用。											
不登校・いじめ対応の充実	・不登校傾向生徒の対応を充実させる。	・不登校対応コーディネーターを中心に、全教職員で連携して対応する。 ・別室登校を柔軟に受け入れる。。	・学校との関わりがない生徒をゼロにする。 ・エンカレッジサポーターや不登校巡回教員と連携して定期、一時利用などすべての生徒が利用しやすい体制を整える。											
	・いじめの早期発見と解決。	・L-Gateを活用し、生徒の状況を把握する。 ・アンケートの実施。	・早期発見と、重大いじめ案件発生ゼロをめざす。 ・年間３回の実施。											
	・教育相談の充実を図る。	・SCによる１年生全員面接の実施。 ・相談希望アンケート実施。	・１学期中に完了し、問題を把握する。 ・夏休み明けに相談希望アンケートを実施し、希望者に相談機会をつくる。											
学校	・学校情報の発信を充実させる。	・学校ホームページを通じて生徒の様子や必要な情報を発信する。 ・テトルの活用。	・１日１更新を目指す。 ・必要な情報は随時テトルで保護者に配信する。											

地域社会に開かれた（園）の実現	・学校公開の実施と充実を図る。	・年３回の学校公開、土曜授業の実施。	・学校公開時は事前に内容を配信し、保護者が授業参観しやすくする。											
	・学校関係者評価の適切な実施。	・生徒の授業アンケート実施、学校評議員と保護者の学校評価を実施する。	・授業アンケートは年２回、保護者には学校公開時、年度末にそれぞれ実施し、９０％以上の肯定的評価を目指す。											
特色ある教育の展開	・ボラティア活動の推進。	・学校内、地域のボランティア活動参加を推進する。	・3年生の卒業前の清掃奉仕活動の実施、地域の公的行事のボランティア活動参加を推進する。											
	・働き方改革の推進を図る。	・校内研修の実施。	・効率的な業務推進の具体的な方法について月1回程度短時間の研修を行う。											